

(第3種郵便物認可)

名古屋などの園児・保護者ら1500人

# 希望の歌♪高らかに熱唱



合唱する園児ら＝長久手市の愛・地球博記念公園で

「幼児文化芸術祭」長久手

県内の幼稚園児らが芸術文化に親しむ「幼児文化芸術祭」が24日、長久手市の愛・地球博記念公園（モリパーク）であり、園児や保護者ら約1500人

が、ベートーベンの交響曲第九番を基にした「希望の歌」交響曲第九番を高くに歌った。

新型コロナウイルス禍の影響で開催は5年ぶり。名古屋西幼稚園など名古屋、日進、豊田市などの九つの園が参加し、プロの音楽家も交え、半年ほど磨いてきた歌声を響かせた。

子どもたちは、進行役の「希望の歌の準備はいいですか」との呼びかけに、「はい」と答え、大張り切り。首を上下に振ったり、隣の友達と手をつなぎ、前後に揺れたりしてリズムを刻んだ。口を大きく開け、日本語とドイツ語で元気づく歌い上げた。

主催した財団法人「幼児文化芸術協会」の小野田多可人理事は「子どもたちに芸術や文化に興味を持ってもらえるきっかけになればうれしい」と話した。

(角野峻也)